

2026年4月16日

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

Dynamic Map Platform North America, Inc.

(お知らせ) 米国「2026 AASHTO GIS for Transportation Symposium」に初出展 ～ブース出展・ワークショップを通じてデジタルインフラの動向を共有～

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)のグループ会社である Dynamic Map Platform North America, Inc.(以下「DMP NA」)は、米国イリノイ州シカゴで3月16～19日に開催された「2026 AASHTO GIS for Transportation Symposium」(以下「AASHTO GIS-T」)に出展しました。なお、本イベントへの出展は、当社グループとして初めての取り組みです。



「2026 AASHTO GIS for Transportation Symposium」当社ブースの様子

AASHTO GIS-T は、米国道路交通運輸行政官協会(AASHTO/American Association of State Highway and Transportation Officials)傘下の専門タスクフォースおよび年次シンポジウムであり、米国運輸省(DOT)や交通機関における GIS(地理空間情報システム)および地理空間技術の活用をテーマに、マッピング、交通計画、安全、インフラ管理などに関する取り組みや事例が共有される国際イベントです。

本シンポジウムにおいて DMP NA は、北米において約 150 万 km 整備済の高精度 3 次元地図データをはじめ、それを活用した V2X^{*}システム・交通管理シミュレーションなど具体的な取り組みを紹介。これらを通じて、デジタルインフラ整備における地理空間データ活用の可能性について訴求しました。当社ブースには DOT など公共機関関係者、GIS 関連企業や建設業界の関係者など様々な来場者が訪れ、交通インフラや公共政策といった幅広い分野におけるグラウンド・トゥールズ・データとしての当社データの活用可能性について、高い関心をお寄せいただきました。

^{*}V2X(Vehicle to Everything): 車両とあらゆるものとの間で通信や連携を行う技術の総称。

また、DMP NA の Vice President 兼 Sales & Marketing である Trip Bonds が、交通分野のデジタルインフラの全国的な連携をテーマとした DOT 主催のワークショップに登壇しました。本ワークショップでは、DOT をはじめとする公共機関や民間企業の関係者など参加者間の意見交換を通じて、交通分野におけるデジタルインフラ整備の現状や今後の課題などが共有されました。その中で、データの相互運用性や官民連携の在り方などについて、実務および制度の観点から意見が交わされました。

Trip は、自動運転車両の運行設計領域(Operational Design Domain: ODD)において利用されている地理空間データの現状や、その活用の広がりについて紹介しました。また、自動運転車両に限らず、物流拠点での搬送機器や作業ロボット、無人航空機(UAV)など、物流・産業分野で活用が進む自律型システムにおいても、現実空間を反映したデジタルモデルが基盤となっている点に言及しました。あわせて、公共分野においては、既存の技術やデータ資産をどのように制度や運用へ取り込んでいくかが、今後の検討事項の一つとして示されました。



ワークショップに登壇した DMP NA Vice President 兼 Sales & Marketing Trip Bonds

当社グループは今後も、国内外の関係機関やパートナーとの連携を通じて、高精度 3 次元データを活用したあらゆるインフラにおけるデジタル化の取り組みに貢献してまいります。

< 「2026 AASHTO GIS for Transportation Symposium」 概要 >

- ・日時 2026年3月16日(月)~19日(木)
- ・場所 McCormick Place Convention Center(米国イリノイ州シカゴ)
- ・主催 米国土道交通運輸行政官協会(AASHTO)

公式サイト: <https://web.cvent.com/event/8f1699e7-19ff-49cc-a49e-1ad1c7da480e/summary>

■ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在26ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度3次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」=地球のデジタル化をビジョンに、高精度3次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立:2016年6月

本社:東京都渋谷区

代表者:吉村 修一

事業内容:自動運転・ADASをはじめ多様な産業を対象とした高精度3次元データの提供

企業 URL: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>